

令和3年度 数学科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・各学年とも、全ての領域・観点で目標値を上回っている。
- ・標準スコアによるカテゴリー間の比較において、各学年とも全国平均を上回っている。

(2) 課題

- ・第1学年の小数・分数の計算
- ・第2学年の問題文のヒストグラムの階級の幅を読み取り
- ・第3学年のy軸に平行なグラフについての理解

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和3年度結果	令和2年度結果	令和元年度結果
第1学年	全ての領域・観点で目標値を上回っている。		
第2学年	全ての領域・観点で目標値を上回っている。昨年度より、標準スコアは上昇した。	全ての領域・観点で目標値を上回っている。 (第1学年時)	
第3学年	全ての領域・観点で目標値を上回っている。昨年度と等しい標準スコアであった。	全ての領域・観点で目標値を上回っている。昨年度より、標準スコアは上昇した。(第2学年時)	全ての領域・観点で目標値を上回っている。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回っている。	目標値を上回っている。	目標値を上回っている。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回っている。	目標値を上回っている。	目標値を上回っている。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
電子黒板等のICTを利用し、視覚的なイメージを持たせる工夫をする。基礎計算の反復と途中式記述の指導により、中学3年間にわたる数学の基盤を固める。	基礎的な内容を反復して定着を図り、日常事象の問題解決に結びつくような活動をさせる。	基礎的な内容を反復して定着を図り、日常事象の問題解決に結びつくような活動をさせる。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
累積度数の考え方を確認し、定期的に復習する機会をつくる。グラフから式を読み取ること、表からグラフをかくことなどを反復練習し、式・表・グラフの関係を理解させる。	合同な図形や確率の授業では、実験や観察の機会を増やして数学的な思考を深めていく。	軸に平行なグラフ、座標軸上で面積を半分にする直線の式などICTを利用し、グラフや図を提示し関心を深める。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各単元で既習事項を確認しながら、3年間の総復習をする。基礎計算や基本の作図、頻出問題の反復練習を行い、より発展的な問題につなげていく。	基礎的な内容を反復して定着を図り、日常事象の問題解決に結びつくような活動をさせる。	基礎的な内容を反復して定着を図り、日常事象の問題解決に結びつくような活動をさせる。